

総合計画が描く まちづくり



都市経営室 ☎ 829-1111

☆まちづくりの設計図「総合計画」

「総合計画」は、長崎市が進むべきまちづくりの方向を見定め、それに向かって取り組んでいくための基本となる計画です。

現在、長崎市では、「第四次総合計画」（計画期間：平成23年度～平成32年度の10年間）に基づいてまちづくりを行っています。

この計画では、将来の都市像を「個性輝く世界都市」「希望あふれる人間都市」とし、これを実現するためのまちづくりの基本姿勢を「つながりと創造で新しい長崎へ」としています。

これは、世界がその価値や魅力を認める「長崎らしさ」と、住む人を起点に考える「暮らしやすさ」に重きを置きながら、新しい長崎をみんなで創っていきこうというものです。

これらの考え方をまとめた総合計画は、まちづくりの設計図です。

将来の都市像
個性輝く
世界都市

将来の都市像
希望あふれる
人間都市

まちづくりの基本姿勢
つながりと創造で新しい長崎へ

☆総合計画の「前期基本計画」の振り返りと「後期基本計画」の策定を進めています

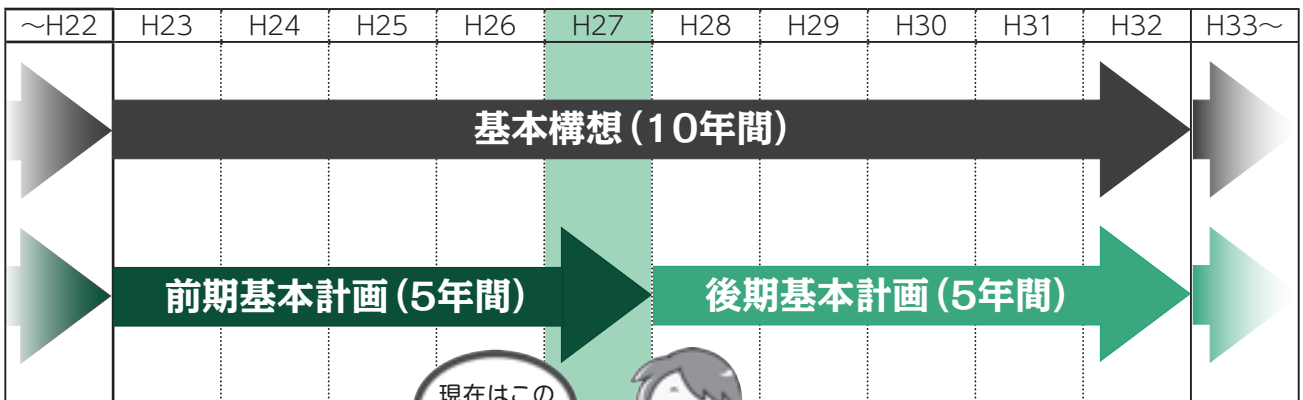
「総合計画」は、将来の都市像とまちづくりの基本姿勢をまとめた「基本構想」と、基本構想で定めた将来の都市像を実現するための施策をまとめた「基本計画」で構成されています。

基本計画は、社会経済情勢の変化や市民ニーズなどを踏まえ、策定から5年後に見直しを行うこととしています。

これまでに、前期基本計画（計画期間：平成23年度～平成27年度）の取り組みについて、実績や成果などを整理しました。

現在、これらの成果などを踏まえて、今年度策定する後期基本計画（計画期間：平成28年度～平成32年度）をより良いものとするための検討を行っています。

【「第四次総合計画」の構成と期間】



現在はこの段階です。



総合計画「前期基本計画」の これまでの取り組み

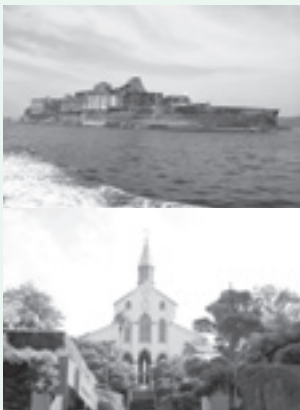
前期基本計画では、「世界都市」「人間都市」の実現に向け、さまざまな取り組みを行ってきました。これらの取り組みのうち、主なものについて実績や成果などをご紹介します。

※今回紹介した取り組み以外にも多くの成果が生まれています。詳しくは、都市経営室にお尋ねいただくか、市ホームページをご覧ください。

世界遺産登録推進

【主な取り組み】

「明治日本の産業革命遺産」と「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の2つの世界遺産登録に向けて、推薦書案の作成や構成資産の保存整備などに取り組みました。



【実績・成果】

「産業革命遺産」については、平成26年1月に国から国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）へ推薦書が提出され、今年5月にユネスコの諮問機関である国際記念物遺跡会議（イコモス）から、世界遺産登録にふさわしいとの勧告を受けました。今後、6月から7月にかけて開催されるユネスコ世界遺産委員会で、世界遺産への登録の可否について審議される予定です。

「教会群」については、平成28年の登録に向け、今年1月に国からユネスコへ推薦書が提出されました。

世界都市

に向けた取り組み

外国人観光客の誘致

【主な取り組み】

地域経済の活性化を図るため、世界遺産候補など長崎らしい素材を活用した外国人観光客誘致と多言語案内板の設置など受入環境整備に取り組みました。



【実績・成果】

◎外国人延宿泊者数

H23 11.6万人 → H26 21.3万人

◎国際クルーズ客船の乗客・乗務員数

H23 37,147人 → H26 197,223人

多くの外国人観光客が長崎を訪れたことにより、観光消費額の増加につながりました。

まちぶらプロジェクト

【主な取り組み】

新大工～浜町～大浦の「まちなか」の賑わいづくりのため、町家の修繕への助成や唐人屋敷大門の建設、地域の力を結集したまちづくりの推進など、それぞれのエリアの個性を活かした取り組みを進めました。



【実績・成果】

- ◎市民や企業などが取り組む「まちぶらプロジェクト認定事業」の増加（H26までに24事業）
- ◎新大工町地区と浜町地区で再開発に向けた準備組合の設立

まちなかの賑わいづくりへの動きが活発になりました。

核兵器廃絶に向けた連携

【主な取り組み】

長崎大学、県とともに核兵器廃絶を目指す協議会を設置し、市民講座の開催や大学生などによる「ナガサキ・ユース代表団」の国際会議への派遣などを行いました。



【実績・成果】

市民の核兵器に関する問題への理解が深まるとともに、ナガサキ・ユース代表団の派遣を通じ、次世代を担う人材が育成できました。



地域防災力の向上

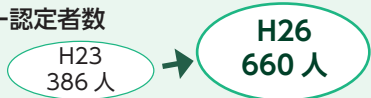
【主な取り組み】

地域の防災体制を強化するため、自主防災組織の結成促進、市民防災リーダーの養成、災害危険個所などを把握するための地域防災マップづくりなどに取り組みました。



【実績・成果】

◎市民防災リーダー認定者数



防災に関する知識や技術を持った市民防災リーダーが増えることで、地域の防災力が向上しました。

学校図書館の機能充実

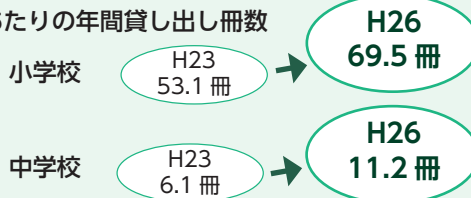
【主な取り組み】

子どもたちの学力向上と豊かな心の育成のため、読書活動を支援する学校図書館司書を市内小中学校に配置しました。
(H26で36人)



【実績・成果】

◎1人あたりの年間貸し出し冊数



学校図書館の環境整備が進み、子どもたちの読書活動が活発になりました。

人間都市

に向けた取り組み

高齢者の交流の場づくり

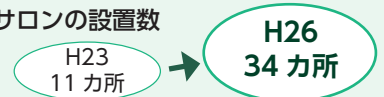
【主な取り組み】

地域のボランティアの方々とともに、公民館など身近な場所で、高齢者同士がレクリエーションや健康体操などを通じて交流する「高齢者ふれあいサロン」の設置を進めました。



【実績・成果】

◎高齢者ふれあいサロンの設置数



高齢者の生きがいづくりと介護予防につながりました。

医療・介護・福祉の総合相談窓口の設置

【主な取り組み】

がんや難病などの患者やその家族のため、医療・介護・福祉の総合相談窓口となる「包括ケアまちなかラウンジ」を設置しました。



【実績・成果】

◎まちなかラウンジの相談者数



療養を余儀なくされた患者や家族を支援することで、安心した生活につなげました。

前期基本計画の成果などを踏まえ、

総合計画「後期基本計画」の策定に取り組みます。

前期基本計画では、まちづくりの主役である市民の皆さん一人ひとりと多様な主体がつながりあうことでさまざまな取り組みが進められ、まちの中に見える形で数多くの成果が生まれました。

今後、さまざまな分野の専門家や市民の皆さんで構成された審議会で、平成28年度から平成32年度までの5年間のまちづくりの施策をまとめた後期基本計画の内容の検討を行っていきます。

これからも、「世界都市」「人間都市」の実現に向けて、市民の皆さんとともにまちづくりを進めていきます。